

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和6年9月4日（水）

2 確認箇所

多核種除去設備等処理水測定・確認用設備（図1）

3 確認項目

多核種除去設備等処理水の試料採水状況の確認

4 確認結果の概要

東京電力は、多核種除去設備等処理水（以下「ALPS処理水」という。）の海洋放出に際して、希釈前のALPS処理水の核種濃度や水質を測定し、トリチウム以外の放射性核種が法令上の基準以下となっていることを確認している。（トリチウムは海水で希釈して法令上の基準を満足させる。）

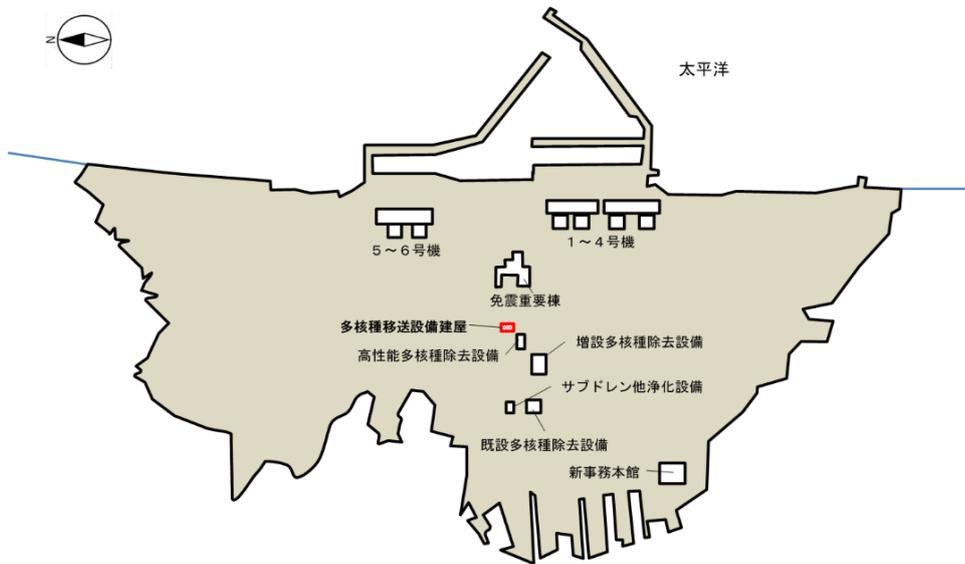
東京電力では、ALPS処理水の第10回目（今年度第6回目）の放出に向けて、G4南エリア（A群）のタンクに貯留しているALPS処理水を測定・確認用タンク（B群）に移送後、8月28日から循環攪拌運転を行っている。

本日は、放出が予定されているALPS処理水の試料採水が行われることから、その状況や手順を確認した。（前回確認：令和6年7月26日）

- ・試料採水は、サンプルタンク循環ポンプが設置されている多核種移送設備建屋（以下「建屋」という。）において、サンプリングラックA系から行われた。（写真1）
- ・建屋入口付近に、採水した試料を仮置きするクリーンエリアが設置されていた。（写真2）
- ・試料採水前に、配管のフラッシング^{※1}が行われた後、分析機関ごとに容器を分けて試料の採水が行われた。（写真3）
- ・試料採水は、容器の共洗いを2回行った後に行われた。
- ・また、コンタミ^{※2}防止や試料の取り違い等防止のため、試料採水者、弁操作者、採水記録者、試料受取者に役割を分担しながら、適切に試料採水が行われていた。（写真4）

※1 フラッシング：配管内部の残留物や異物等を除去するため、試料水による配管の洗い流しを行う操作のこと。

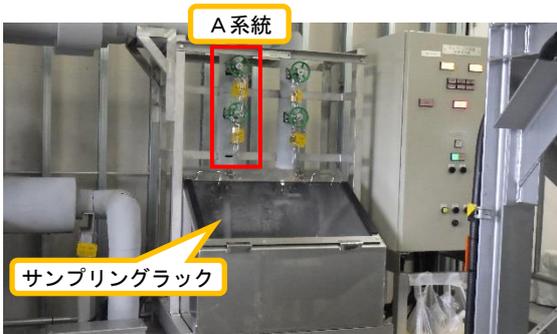
※2 コンタミ：異物や不純物等、本来混入すべきではない物質が混入すること。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1-1)
多核種移送設備建屋の外観



(写真1-2)
試料採水用サンプリングラック
※ 建屋内南側に設置されている。



(写真2)
クリーンエリアの状況



(写真 3 - 1)
試料採水時の状況



(写真 3 - 2)
採水した試料の状況



(写真 4)
試料採水作業の状況

- 5 プラント関連パラメータ等確認
本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。